

令和8年度 城辺小学校グランドデザイン

教育目標

心あたたかく 学び合い やりぬく城辺の子の育成

All for one One for all

みんなはひとりのために 一人はみんなのために

目指す児童像

- あいさつをする子
- 意見を言える子・説明する子
- 運動・勉強に挑戦する子
- 笑顔あふれる子
- ふるさとを思いやる子

笑顔の循環

目指す教師像

- 笑顔で明るい教師
- 一人ひとりを伸ばす教師
- 目線を子どもにあわせる教師

「伸びる」

～一人ひとりを大切に 誰一人取り残さない～

安心・安全で笑顔が絶えない学校

目指す学校像

家庭・地域とともにある学校

家庭

見とけの場
しつけの場
やすらぎの場

「城辺だからこそできる教育の推進」

- 個を生かす・伸ばす特別支援教育の充実
- 一人ひとりの人格を尊重する人権・同和教育
- 学び合える集団づくりと授業改善
- 実践的な防災教育の継続と防災行動の習慣化
- 探究型城辺ふるさと未来教育への挑戦
- 「働きがい・働きやすさ」を重視した業務改善
- SC・SSW とサポートルームの活用

地域

学びと体験の場
貢献と交流の場

学校運営協議会（熟議・支援・評価・改善）

重 点 目 標	1 学校の教育目標 心あたたかく 学び合い やりぬく城辺の子の育成 校訓：みんなはひとりのために 一人はみんなのために 合言葉：「伸びる」 ～ 一人ひとりを大切に 誰一人取り残さない～ 2 基本方針 (1) 特別支援教育の充実と人権・同和教育の推進を学校経営の柱とし、一人ひとりの児童に身に付けさせたい力を明確にした教育実践を行うとともに、自分の思いや考えを発表したり筋道立てて説明したりする児童を育てる。 (2) 学校・家庭・地域が力を合わせ、「城辺だからこそできる」教育活動の推進を通して更なる「家庭・地域とともにある学校づくり」を進める。 3 経営の重点 (1) 一人ひとりの個性や特性を重視し、指導者が効果的に連携することで、全ての児童の成長と自己実現を支援する。 (2) 友達との「ちがひ」や友達の「良さ」を大切にし、友達から学ぶ活動を通して、いじめや不登校のない学校づくりに努める。 (3) 児童の主体性を生かすための授業改善に努めるとともに、認め合う集団づくりを通して、学習意欲の向上と確かな学力の定着に努める。 (4) 実践的な防災教育を日常化し、安心・安全な学校づくりを推進するとともに、主体的に防災学習に取り組む児童を育てる。 (5) 城辺小学校区の良さをより深く学ぶために、これまでに行っている体験活動と探究的な活動をつなげ、城辺ならではのふるさと教育の充実を図る。 (6) OJTを通して「働きがい」を生み出すとともに、教職員の負担軽減となる業務改善や地域住民による学校支援体制の構築を図る。 (7) SC・SSWやサポートルームを活用し、児童のニーズに合わせた学びを実現させるとともに、不登校の未然防止に努める。
管 理 運 営	1 人的管理 (1) 服務規律を遵守し、教育公務員としての信用の保持と報告・連絡・相談を基盤とした風通しの良い職場づくりに努める。 (2) 教職員一人ひとりの特性や能力が存分に発揮できるような組織づくり・雰囲気づくりを行い、信頼し、高め合う主体性のある集団を目指す。 (3) 交通安全推進協議会の活性化を図り、交通事故・交通違反の防止に努める。 2 危機管理 (1) 実効性のある危機管理マニュアルや安全指導計画の整備と充実に努める。 (2) 校舎内外や通学路の定期点検を確実にを行うとともに、見守り隊や関係機関との連携により、児童の交通事故防止に努める。 (3) 実動的な避難訓練や防犯訓練等の防災・防犯対策を徹底し、危機管理体制の整備と問題点の改善を図る。 3 物的管理 (1) 施設・設備及び教材・教具の安全点検・有効活用を図り、事故防止に努める。 (2) 清潔で、美しく、機能的な教育環境づくりに努める。 4 事務管理 (1) 城辺共同学校事務室や町教育委員会と連携し、適正で迅速な事務処理を行う。 (2) 情報セキュリティポリシーを遵守し、個人情報等の適切な保管・管理に万全を期す。 (3) 公金の取扱いについて定期的に点検し、管理を厳正に行う。
本 校 教 育 の 特 色	1 安全教育の充実 愛南町防災教育研究指定校として、実践的・実効的な防災教育を中心に、城辺中学校や関係機関と連携した「命を守るための学び」の充実を図る。 2 児童会活動の活性化 児童のアイデアや創造力を生かし、学校をよく(笑顔いっぱいにするための活動に積極的にチャレンジする児童会を目指す。 3 ふるさと未来教育への挑戦 学校運営協議会や校区関係機関等とのつながりを大切にしながら、創立 150 年の歴史と伝統を受け継ぎ、城辺ならではの、城辺だからこそできる体験活動と探究的な活動を充実させることで、「城辺を知り、城辺に学び、城辺に生きる」児童を育てる。